



平成 17 年 10 月 5 日

各 位

会 社 名 タ カ ノ 株 式 会 社
代 表 者 の
役 職 氏 名 代表取締役社長 鷹 野 準
(コード番号：7885 東証第一部)
問い合わせ先 常 務 取 締 役 野 溝 郁 文
電 話 番 号 0 2 6 5 - 8 5 - 3 1 5 0 (代 表)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 13 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期中間期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 13 日発表)	12,000	700	210
今回修正予想 (B)	11,660	1,090	420
増減額 (B－A)	△340	390	210
増 減 率	△2.8	55.7	100.0
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	12,196	1,308	844

2. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 13 日発表)	12,600	900	400
今回修正予想 (B)	12,250	1,290	580
増減額 (B－A)	△350	390	180
増 減 率	△2.8	43.3	45.0
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	12,860	1,510	1,003

3. 修正の理由

<単独中間業績予想>

単独中間業績予想につきましては、台湾および韓国液晶パネルメーカー、国内液晶カラーフィルターメーカーにおける設備投資意欲は引き続き継続しており、エレクトロニクス関連事業の販売は堅調に推移したものの、OEM事業における客先の在庫調整の影響にともなう受注および販売減少により、売上高は前回発表予想を下回る見通しであります。

一方、利益面に関しては、液晶検査装置大型化傾向に対応すべく原価管理および部材のコストダウンの徹底、検査装置製造体制の合理化を押し進めたことにより、当初見通しと比較して売上原価が低減でき、経常利益は1,090百万円と前回発表予想を390百万円(55.7%)上回る見通しであります。

<連結中間業績予想>

連結中間業績予想につきましては、連結子会社の業績は堅調に推移しており、上記単独中間業績予想の影響により、修正を行うものであります。

なお、通期単独および連結業績予想に関しましては、平成17年11月11日に予定しております中間決算発表日に公表させていただく予定であります。

(注) 業績見通しにつきましては、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。